

【距離別・女子マススタート】ラストスタートをかける澤尻磨里英（手前） ↓Sアリーナ八戸



スピードスケート
全日本距離別選手権

澤尻（八学大）2位
女子マススタート

スローペースで苦しい展開 「脚使い過ぎ」悔しさにしむ

○…女子マススタートでは、昨季のジャパンカップでポイントランキング総合優勝の澤尻磨里英（八学大）が2位入賞。1位陥落は2季ぶり、栄えある表彰台にも「途中で脚を使い過ぎた。悔しい」と苦笑いした。競技は16周でポイントを競う。ライバルたちは、実績のある澤尻を警戒して背後に回ったため、レース中の多くの時間で集団を引っ張らされた。また、スローペースな試合展開の中で急な加減速が何度も発生し、「後ろに

も回れず、スピードの上げ下げて脚が悲鳴を上げていた」という。最終コーナーまで先頭を維持したが、最後の直線で、後方で力をためていた選手にわずかな差で追い抜かれた。「普段は途中か最後で勝負を懸けるが、今回はできなかった」と肩を落とした。27日は1500mに出場予定。大学最後のシーズンだけに「全てのレースが最後のつもりで大事にしたい」と気を引き締めていた。